

6

言葉のきまり 付属語

例題でまなぶ

ポイント 1 助動詞

- 1 次の文中の助動詞に——線をつけなさい。
鳥のように空を飛びたいと言った妹は、
みんなに笑われたらしい。
- 2 次の——線部の助動詞を終止形に直して書きなさい。
(1) 校庭にだれもいなかった。
(2) 元氣そうな男の子。
(3) 弟は海へ行きたがった。
(4) だれも返事をしません。
3 次の——線部の助動詞の意味をあとから一つずつ選び、記号で答えなさい。
(1) 午後から晴れるようだ。
(2) 昨日、友達と山へ行った。
(3) 中村君が競走に勝つだろう。
(4) 私の母は中学の教師だ。
(5) 隣の人に声をかけられる。

活用のある付属語

助動詞

無活用型		特殊型の活用		形容動詞型活用			形容詞型活用		動詞型活用		
まい	う・よう	ぬ(ん)	た(だ)	ます	です	そうだ	ようだ	だ	ない	たい	らしい
否定の意志…打ち消しの意志	勧誘…相手の誘う	否定…動作・物事を打ち消す	確認…確かめる 存続…「〜ている・〜である」の意	丁寧…相手への丁寧な気持ち 丁寧な断定…「だ」の丁寧な言い方	過去…すでに過ぎ去ったこと 完了…すっかり終わったこと	断定…はっきりこうだと決める 推定…根拠に基づき推し量る たとえ…何かにたとえる 例示…例として示す 伝聞…人から聞いた 推定(様態)…そういう様子だ	希望…自分や自分以外の望み 推定…根拠に基づき推し量る	否定…動作・物事を打ち消す 希望…自分や自分以外の望み 推定…根拠に基づき推し量る	使役…他のものに動作をさせる 受け身…他から何かをされる 可能…〜することができ 自発…自然にそうなる 尊敬…他人の動作を敬う 希望…第三者の望み	弟に本を読ませる。 みんなに笑われる。 一人で服を着られる。 昔のことが思い出される。 先生が教室に来られる。 彼は海へ行きながら。	「せる・れる」は五 段・サ変動詞の未然 形に、「させる・られ る」は上・下・一・ 力変動詞の未然形に 接続する。
*彼は遅れるだろう。	*次の試合はがんばろう。	*彼は遅れるだろう。	*彼は遅れるだろう。	*彼は遅れるだろう。	*彼は遅れるだろう。	*明日は雨のようだ。 *まるで夢のようだ。 *彼のようになりたい。 *明日は雨が降るそうだ。 *明日は雨が降りそうだ。	*この木は桜の木だ。 *明日は雨のようだ。 *ぼくは医者になりたい。 *明日、雪が降るらしい。	*私はうそをつかない。 *ぼくは医者になりたい。 *明日、雪が降るらしい。			
注 助動詞は活用のある語だが、上の助動詞は活用しない。		注 助動詞「た」が「だ」と濁るのは、上にイ音便や撥音便の動詞がきたとき。 *川で泳いだ。 *お茶を飲んだ。		注 助動詞「た」が「だ」と濁るのは、上にイ音便や撥音便の動詞がきたとき。 *川で泳いだ。 *お茶を飲んだ。		注 「ようだ」「そうだ」を丁寧な言うときには、「ようです」「そうです」を使う。	注 「ない・ぬ(ん)」の意味を「打ち消し」としてもよい。				

付属語とは、単独で文節を作れず、つねに自立語のあとについて文節を作る単語だ。助動詞の意味や助詞の働きを理解しよう。



- (6) 弟に勉強をさせる。
- (7) 決してうそをつかない。
- | | | | | | |
|---|----|---|----|---|-----|
| ア | 使役 | イ | 否定 | ウ | 推量 |
| エ | 断定 | オ | 推定 | カ | 受け身 |
| キ | 過去 | | | | |

ポイント
2
助詞

- 4 次の各文中の助詞に――線をつけなさい。
- (1) 鳥が木の枝に止まる。
- (2) このリングは一個百円ぐらいだわ。
- (3) 疲れたので、私も休もうかしら。
- 5 次の各文の――線部の助詞は、あとのどれか。記号で答えなさい。
- (1) 私も君と同じ意見です。
- (2) 雨が降れば、延期になる。
- (3) 芝生の中に入るな。
- (4) 美しい湖が見える。
- ア 格助詞 イ 接続助詞
ウ 副助詞 エ 終助詞
- 6 次の――線部の「の」は、あとのどれか。記号で答えなさい。
- (1) 声のする方を見る。
- (2) 桜の花が咲いた。
- ア 体言の代用。 イ 主語を示す。
ウ 連体修飾語を示す。

活用のない付属語

助詞

終助詞		副助詞				接続助詞				格助詞							
																	
文や文節の終わりにつき、気持ちや態度を表す。		いろいろな語句について、意味をつけ加える。				主として活用する語につき、いろいろな関係で前後をつなぐ。				主として体言につき、あとに続く語句との関係を示す。							
な	か	さえ	こそ	も	は	の	から	ば	(でも)	ても	けれど	が	より	を	と	の	が
感動を示す	疑問を示す 質問を示す 勧誘を示す	他を類推	強調を示す	並立を示す 強調を示す 他を類推	題目を示す 強調を示す	確定の順接	確定の順接	並立の順接	並立の順接	仮定の逆接	確定の逆接	前置き	比較する基準	対象を示す	引用を示す 並立の関係	体言の代用	主語を示す 連体修飾語
*きれいな花だ なあ 。	*彼女も来るだろう か 。 *なぜ失敗をした のか 。 *いっしょに遊ぼう か 。	*雪 さえ 降り出した。	*空 も 海も青い。 *三十分 も 遅れた。 *数学 も 満点だ。	*日本は経済大国だ。 *私にはわからない。 *空 も 海も青い。 *三十分 も 遅れた。 *数学 も 満点だ。	*雨が降ろう が 、行く。 *暑い が 、抱抱する。 *その件だ が 、君は… *遅れた けれど 、行く。 *台風が来て ても 、平気。 *呼んでも、聞こえぬ。 *高ければ、買わない。 *冬になれば、寒くなる。 *赤もあれば白もある。 *悲しい から 、泣く。 *疲れた ので 、休む。	*犬 が ほえる。 *兄の かばん 。 *雨の降る日は寒い。 *絵をかく のが 得意だ。 *父 と 話す。 *「はい」と言う。 *犬 と 猫を飼う。 *荷物を持つ。 *ぼく より 大きい。											
ね	な	か	しか	だけ	でも	ばかり	で	(で)	ながら	と	で	や	から	へ	に	で	
依頼を示す	命令を示す 念を押す	禁止を示す	限定を示す	限定を示す	限定を示す	程度を示す	動作の推移	補助の関係	動作の並行	動作の並行	動作の並行	動作の並行	並立の関係	方角を示す	場所を示す	原因・理由	材料を示す
*早く帰る な 。 *大声を出す な 。 *早く帰る な 。 *これで正しいの ね 。 *答えを教える ね 。	*どこか か に行った。	*私 しか 知らない。	*父 だけ が知っている。	*彼のこと ばかり 話す。 *五十年 ばかり 前だ。 *今終わつた ばかり だ。 *大人 でも 解けない。 *ゲーム でも しようか。	*紙で飛行機を作る。 *かぜで仕事を休む。 *彼は図書館 に いる。 *兄 と 相談する。 *泳ぎ に 行く。 *南 へ 移動する。 *東京 から やってくる。 *国語 と 数学。												

確認問題

〔付属語〕

1

助動詞

〈54点〉

(1) 次の——線部の助動詞の意味はあとのどれか。一つずつ選び、記号で答えなさい。〈各2点〉

- ① 弟は外で遊びたがる。 ☐
 ② 机の上に花を飾ります。 ☐
 ③ 明日、彼は海へ行くらしい。 ☐
 ④ 妹は、父の言うことを聞かぬ。 ☐
 ⑤ 私の父は、弁護士です。 ☐
 ア 否定 イ 丁寧 ウ 希望
 エ 推定 オ 丁寧な断定
 (2) 次の各組の——線部の助動詞の意味をそれぞれあとから選び、記号で答えなさい。〈各1点〉
- ① A 先生が皆の前で話される。 ☐
 B 息子の身が案じられる。 ☐
 C この魚は生で食べられる。 ☐
 D 私は先生にほめられた。 ☐
 ア 受け身 イ 可能
 ウ 自発 エ 尊敬
 (3) A お城のような家だ。 ☐
 B 客が来ているようだ。 ☐
 C 熊のような大きい動物。 ☐
 ア 推定 イ たとえ ウ 例示
 (4) A もうすぐ山へ行くそうだ。 ☐
 B もうすぐ山へ行きそうだ。 ☐
 ア 伝聞 イ 推定(様態) ☐

.....

- (5) A この本は君のだったね。 ☐
 B 今練習が済んだところだ。 ☐
 C 帽子をかぶった婦人。 ☐
 D 去年父は海外に行った。 ☐
 ア 過去 イ 完了
 ウ 確認 エ 存続
 (6) A 彼は悲しまないだろう。 ☐
 B 僕とプールへ行こうよ。 ☐
 C 君にこれをあげよう。 ☐
 ア 意志 イ 推量 ウ 勧誘
 (7) A 決して練習を怠るまい。 ☐
 B 今日は風が吹くまい。 ☐
 ア 否定の意志 イ 否定の推量
 (8) 次の各文の——線部と同じ意味・用法のものをそれぞれあとのア～エから一つずつ選び、記号で答えなさい。〈各3点〉
- ① つらくても泣き言は言わない。 ☐
 ア 友達は、今日は元気でない。 ☐
 イ 昆虫の命は、とてもはかない。 ☐
 ウ 机の上に辞書はない。 ☐
 エ 勉強中には、私はラジオを聞かない。 ☐
 (9) 私は中学三年生である。 ☐
 ア 父は医者で、母は看護師だ。 ☐
 イ この肉は新鮮でない。 ☐
 ウ 雨が降っているので、屋内で遊ぶ。 ☐
 エ 鳥が空を飛んでいる。 ☐

.....

- (10) ③ 弟はもう一人で起きられる。 ☐
 ア 楽しかった家族旅行が思い出される。 ☐
 イ 父から知恵を授けられる。 ☐
 ウ この問題には答えられる。 ☐
 エ 校長先生が美しい絵を描かれる。 ☐
 (11) ④ 兄は勉強が嫌になつたらしい。 ☐
 ア 中学生らしい服装で出かける。 ☐
 イ 彼は男らしい態度だ。 ☐
 ウ けがをした足が痛いらしい。 ☐
 エ 雪がとけ、春らしい天気になつた。 ☐
 (12) 次の助動詞は、あとのどの型の活用をするか。記号で答えなさい。〈各2点〉
- ① たがる ☐
 ② ない ☐
 ③ です ☐
 ④ そうだ ☐
 ア 動詞型 イ 形容詞型
 ウ 形容動詞型 エ 特殊型
 (13) 次の①・②の文を助動詞を使って、へに示した文に書き換えなさい。〈各3点〉
- ① 兄は父に夢を語った。〈使役の文〉 ☐
 ② 隣の犬は私にほえた。〈受け身の文〉 ☐

得点

100

2

助詞

〈46点〉

(1) 次の各組の——線部で、助詞はどちらか。
記号で答えなさい。
〈各2点〉

① ア 暑いが、外出する。
イ 暑いが、外出する。

② ア 床をきれいにみがく。
イ 机の上に本がある。

(2) 次の各文の——線部の助詞の意味・用法を
あとからそれぞれ選び、記号で答えなさい。

〈各1点〉

① A 音楽を聴くのが趣味だ。

B 母の家事を手伝う。

C 電話の鳴る音が聞こえる。

D 暑いの寒いのと文句を言う。

A 主語を示す。イ 並立を示す。

ウ 体言の代用。エ 連体修飾語を示す。

A 疲れようと、がんばる。

B 「その通りだ。」と言う。

C 水がとけて水となる。

D 雨がとくと、不作になる。

E 田中君と山へ行く。

F 動物園で象ととうを見える。

A 仮定の順接を示す接続助詞。

イ 仮定の逆接を示す接続助詞。

ウ 並立を示す格助詞。

エ 引用を示す格助詞。

オ 相手を示す格助詞。

カ 結果を示す格助詞。

③ A 昆虫をとりに山へ行く。
B 毎朝六時に起きる。
C 寒さに震えがきた。
D 校庭に彼がいる。

ア 場所を示す。イ 原因・理由を示す。
ウ 時間を示す。エ 目的を示す。

④ A 休みだから、家に居る。
B 牛乳からチーズを作る。
C 疲れから病気になった。
D 日本から米国へ行く。

ア 原因・理由を示す格助詞。
イ 手段・材料を示す格助詞。
ウ 起点を示す格助詞。
エ 確定の順接を示す接続助詞。

⑤ A 知つていながら教えない。
B 歩きながら話をする。

ア 確定の逆接を示す。
イ 動作の並行を示す。

⑥ A 弟も答えを知っている。
B 駅まで三十分も歩いた。
C 猫に加え、犬も飼う。
D 田も畑も水びたしだ。

ア 添加を示す。イ 他を類推させる。
ウ 強調を示す。エ 並立を示す。

⑦ A 完成したばかりの家。
B 二年ばかり京都にいた。
C 泣いてばかりいる。

ア 程度を示す。イ 限定を示す。
ウ 完了の直後を示す。

⑧ A 火事で書類が全部焼かれた。
B 父に頼んで、許可を得た。
C 虫が死んでいる。
D デパートでい物をする。
E 飛行機で北海道に行く。

ア 場所を示す格助詞。
イ 手段・材料を示す格助詞。
ウ 原因・理由を示す格助詞。
エ 補助の関係をて示す接続助詞。
オ 接続助詞「て」が濁音化したもの。

⑨ A なぜ教えないのか。
B 二人で旅行に行かないか。
C 彼はだれか知らない。

ア 不確かを示す副助詞。
イ 疑問を示す終助詞。
ウ 勧誘を示す終助詞。

⑩ A 呼んでも、返事がない。
B トランプでもしようか。
C 死んでも、名を残すだろう。
D 犬でも恩を忘れない。

ア 仮定の逆接を示す接続助詞。
イ 確定の逆接を示す接続助詞。
ウ 他を類推させる副助詞。
エ 大まかな例示を示す副助詞。

⑪ A 寒いうえに雪さえ降った。
B 子供さえ解ける問題。
C 話さえすればわかることだ。

ア 限定を示す。イ 他を類推させる。
ウ 添加を示す。

2

まぎらわしい品詞の見分け方

文法の問題では、品詞の識別や、意味・用法の違いを見きわめる問題が多い。ここでは、特によく出題されるものを取り上げ、識別のポイントを示している。きちんと理解し、正しく識別できる力を養おう。

れる・られる

- | | | |
|-----------------|---|-----|
| ① 成績が上がりほめられる。 | ↓ | 受け身 |
| ② 日食が見られる。 | ↓ | 可能 |
| ③ 娘の将来が案じられる。 | ↓ | 自発 |
| ④ 先生が連絡事項を話される。 | ↓ | 尊敬 |

識別のポイント 言い換えて判断！

- 受け身**…「～に～される」と言い換えられる。
 ① 成績が上がり両親にほめられる。
可能…「～することができると言い換えられる。
 ② 日食を見ることができると言い換えられる。
自発…「～自然に～ことができる。
 ③ 娘の将来が自然に案じられる。
尊敬…「お～になる」と言い換えられる。
 ④ 先生が連絡事項をお話になる。

例題でチェック 1

- 「友達の誕生会に招待される。」の「れる」と同じ意味・用法のものを次から一つ選び、記号で答えなさい。〔 〕
 ア 亡き祖父の生前の姿がしのばれる。
 イ 恩師が十時に駅に到着される。
 ウ 満員電車で足を踏まれた。
 エ この程度の数字なら全部覚えられる。

ない

- | | | |
|-------------|---|--------|
| ① 海が穏やかでない。 | ↓ | 形容詞 |
| ② 人口が少ない。 | ↓ | 形容詞の一部 |
| ③ 答えがわからない。 | ↓ | 助動詞 |

識別のポイント 「ぬ」に言い換えられると助動詞

- 形容詞**…「ぬ」に言い換えられない。
 ① 海が穏やかでぬ。…×
形容詞の一部…「ぬ」に言い換えられず、直前で文節に切れない。
 ② 人口が少ぬ。…× 人口が少／ない。…×
助動詞…「ぬ」に言い換えられる。
 ③ 答えがわからぬ。…○

例題でチェック 2

- 次の——線部の「ない」から助動詞の「ない」を一つ選び、記号で答えなさい。
 ア 今日の空は美しくない。
 イ 子供の様子はあどけない。
 ウ 東京に行った兄から便りがない。
 エ 多数意見が正しいとは限らない。

の

- | | | |
|---------------|---|-------|
| ① 木の枝が折れる。 | ↓ | 連体修飾語 |
| ② 犬の鳴く声が好きだ。 | ↓ | 主語 |
| ③ 映画を見るのが好きだ。 | ↓ | 体言の代用 |
| ④ 暑いのが好きだ。 | ↓ | 並立の関係 |

識別のポイント 「が」に言い換えられると主語

- 連体修飾語**…「体言十の十体言」の形をとる。
 ① 木の枝…体言十の十体言。
主語…「が」に言い換えられる。
 ② 犬が鳴く声が好きだ。
体言の代用…「こと・もの・もの」などに言い換えられる。
 ③ 映画を見ることが好きだ。
並立の関係…前後を入れかえることができる。
 ④ 暑いのが好きだ。

例題でチェック 3

- 「父の働く姿を見る。」の「の」と同じ意味・用法のものを次から一つ選び、記号で答えなさい。〔 〕
 ア 友達の描いた絵はすばらしかった。
 イ 行くの行かないのとはつきりしない。
 ウ 彼の夢は、作家になることだ。
 エ このノートは姉のだ。

で

- ① 彼は元気である。↓ 形容動詞の活用語尾
- ② 父は医者である。↓ 断定の助動詞
- ③ 材木で家を作る。↓ 格助詞
- ④ 鳥が飛んでいる。↓ 接続助動詞

識別のポイント 何に接続しているかに着目！

形容動詞活用語尾 …「で」を「な」に置き換え、

体言が続けられる。前に「とても」が入る。

① 元気な彼…○ 彼はとても元気である。…○

断定の助動詞 …「で」を「な」に置き換え、

体言が続けることができない。

② 医者な父…×

格助詞 …体言につき、場所、手段・方法、材

料、原因・理由などを表す。

③ 材木…体言。家を作る材料が材木。

・海岸で遊ぶ。(場所)

・自転車で学校へ行く。(手段・方法)

・かぜで頭が痛い。(原因・理由)

接続助動詞 …動詞の音便につく。

④ 飛ん…動詞「飛ぶ」の撥音便。「で」は「て」

が動詞の音便について濁音化したもの。

例題でチェック 4 「ここは田舎で、自然に恵

まれている。」の「で」と同じ意味・用法のもの

を次から一つ選び、記号で答えなさい。〔 〕

ア 獣が獲物のおいをかいでいる。

イ この公式で問題を解く。

ウ 風がさわやかで、気持ちがいい。

エ 今日は授業参観日であった。

と

- ① 母と畑へ行く。↓ 格助詞(相手)
- ② すみませんと言う。↓ 格助詞(引用)
- ③ 遠足は延期となる。↓ 格助詞(結果)
- ④ 失敗しようと平気だ。↓ 接続助動詞(逆接)
- ⑤ 雪が降ると寒い。↓ 接続助動詞(順接)

識別のポイント 前を「でくくると引用

格助詞(相手) …体言に続き、「と」といっしよ

に」の意味を表す。

① 母…体言。母といっしよに畑へ行く。

格助詞(引用) …「と」の前を「でくくると引用」

② 「すみません」と言う。

格助詞(結果) …体言に続き、「と」となる」と

いう形になる。

③ 延期…体言。延期となる。

接続助動詞(逆接) …活用する語につき、「たと

え」とに言い換えられる。

④ よう…助動詞。たとえ失敗しようと平気だ。

接続助動詞(順接) …活用する語につき、「と」を

「すると」に言い換えられる。

⑤ 降る…動詞。雪が降る。すると寒い。

例題でチェック 5 「窓を開けると、風が心地

よい。」の「と」と同じ意味・用法のものを次

から一つ選び、記号で答えなさい。〔 〕

ア 葉がくさって、土の栄養分となる。

イ 強風が吹こうと、この大木は倒れない。

ウ 話をすると彼のよさがわかった。

エ 平和が大切だと私は思う。

に

- ① きれいに塗る。↓ 形容動詞の活用語尾
- ② 五時に家に帰る。↓ 格助詞(時間)
- ③ 痛さに泣き出す。↓ 格助詞(原因・理由)
- ④ 泳ぎに行く。↓ 格助詞(目的)
- ⑤ 父に尋ねられる。↓ 格助詞(相手・対象)

識別のポイント 置き換えて判断！

形容動詞活用語尾 …「に」を「な」に置き換

え、体言が続けられる。前に「とても」が入る。

① きれいな絵…○ とてもきれいに塗る。…○

格助詞(時間) …前に時を表す言葉がある。

② 五時…時を表す言葉。

格助詞(原因・理由) …「のせいで」に言い

換えられる。

③ 痛さのせいで泣き出す。

格助詞(目的) …「くするために」に言い換え

られる。

④ 泳ぐために行く。

格助詞(相手・対象) …前に相手・対象を表す

言葉がある。

⑤ 父…受け身の相手。

例題でチェック 6 「あまりの静けさに怖い感

じがする。」の「に」と同じ意味・用法のものを

次から一つ選び、記号で答えなさい。〔 〕

ア 敗戦に応援団はがつくりする。

イ 運動をしに町の体育館まで出かける。

ウ わが子は丈夫に育った。

エ 記者に優勝した気持ちを問われた。

ようだ

- ① 午後から雨が降るようだ。 ↓ 推定
 ② この暑さは夏のようだ。 ↓ たとえ
 ③ 彼のようになりたい。 ↓ 例示

識別のポイント 言葉を補って判断！

推定…前に「どうも」を補うことができる。

また、「ようだ」を「らしい」に言い換えられる。

- ① 午後から雨がどうも降るようだ。

午後から雨が降るらしい。

たとえ…「らしい」に言い換えられず、前に「まるで」を補うことができる。

- ② この暑さは夏のらしい。…×

この暑さはまるで夏のようだ。

例示…前に「例えば」を補うことができる。

- ③ 例えば彼のようにになりたい。

注 「ようだ」の連用形には、次の用例もある。

・どうか優勝しますように。(願いを表す)

・バスに間に合うように走る。(目的を表す)

・私の言うようにに書け。(軽い命令を表す)

例題でチェック 7 次の各文の——線部の意味・用法と同じものをあとから一つずつ選び、記号で答えなさい。

(1) 君の話は、物語のようだ。 []

(2) 先生は怒っているようだ。 []

ア 試合に勝つようにがんばって練習する。

イ 子供たちは遊びに行ったようだ。

ウ 星のように輝いている宝石。

エ ハワイのような常夏の島に行きたい。

でも

- ① 叫んでも聞こえない。 ↓ 接続助詞(逆接)
 ② 子供でも知っている。 ↓ 副助詞(類推)
 ③ お茶でも飲もうよ。 ↓ 副助詞(例示)

識別のポイント 音便形につけば接続助詞

接続助詞(逆接)…動詞の音便形につく。「でも」は、接続助詞「ても」が濁音化したもの。

- ① 叫ん…動詞「叫ぶ」の撥音便。

副助詞(類推)…「でさえ」や「だって」に言い換えられる。

- ② 子供でさえ知っている。

子供だって知っている。

- ③ お茶など飲もうよ。

副助詞(例示)…「など」に言い換えられる。

格助詞「で」+副助詞「も」、接続助詞「で」+副助詞「も」と混同しない。

注 格助詞「で」+副助詞「も」、接続助詞「で」+副助詞「も」と混同しない。

・バスでも行ける。(格助詞+副助詞)

・騒いでもいる。(接続助詞+副助詞)

これらは、「も」をとつても意味は通る。

バスで行ける。騒いでいる。…○

例題でチェック 8 「どんなに進んでも目的地に着かない。」の「でも」と同じ意味・用法のものを次から一つ選び、記号で答えなさい。 []

ア 勉強にあきたので、テレビでも見よう。

イ 彼女は明るくてさわやかでもある。

ウ 老人でもできる運動だ。

エ 外国でも日本料理は食べられる。

オ いくら騒いでも怒られなかった。

らしい

- ① 彼は男らしい。 ↓ 形容詞を作る
 ② 景色はすばらしい。 ↓ 形容詞の一部
 ③ 明日は晴れらしい。 ↓ 推定の助動詞

識別のポイント 言葉を補って判断！

形容詞を作る接尾語…前に「実に」や「いかにも」を補うことができる。

- ① 彼は実に男らしい。彼はいかにも男らしい。

「男らしい」で一語の形容詞。

形容詞の一部…「○○／らしい」と切ると、「○○」は意味をもたない。

- ② すば／らしい…「すば」は意味をもたない。

推定の助動詞…「どうも」である「を」を補うことができる。また、「らしい」を「ようだ」に言い換えることができる。

③ 明日はどうも晴れであるらしい。

明日は晴れのようだ。

例題でチェック 9 次の各文の——線部の意味・用法と同じものをあとから二つずつ選び、記号で答えなさい。

(1) 仕事は終わったらしい。 []

(2) 主将らしい考え方だ。 []

ア 中学生らしい服装をしない。

イ 幼児のしぐさはかわいらしい。

ウ おじさんがけがをしたらしい。

エ 向こう岸にいるのは女らしい。

オ こんな遊びをするなんて子供らしい。

ばかり

- ① 泣いてばかりいる。↓ 限定
② 十分ばかり待つ。↓ 程度
③ できたばかりの絵だ。↓ 完了の直後
④ 割れんばかりの風船。↓ しそうな状態

識別のポイント 「ほど」に言い換えられると程度

限定 「だけ」に言い換えられる。

① 泣いてだけいる。

程度 「ほど」に言い換えられる。

② 十分ほど待つ。

完了の直後 「く間もない」と言い換えられる。

③ できて間もない絵だ。

しそうな状態 「今にもくしそうな」と言い換えられる。

い換えられる。

④ 今にも割れそうな風船。

注 「ばかり」は副助詞である。

例題でチェック 10 次の各文の——線部と意味・用法の同じものをあとから一つずつ選び、記号で答えなさい。

- (1) 五年ばかりアメリカにいた。 []
(2) 彼は目的地に着いたばかりだ。 []
(3) 元気者の弟はけがばかりする。 []
(4) 彼女は泣かんばかりの表情だ。 []
ア 私の家の犬は、庭を走ってばかりいる。
イ はちきれんばかりに太っている。
ウ ぼくは、今千円ばかり持っている。
エ 退院したばかりなので無理をしない。

から

- ① 会社から帰ってきた。↓ 格助詞(起点)
② 疲れから病気になる。↓ 格助詞(原因・理由)
③ 木から紙を作る。↓ 格助詞(手段・材料)
④ 疲れたから休む。↓ 接続助詞(順接)

識別のポイント 活用語についていると接続助詞

格助詞(起点) ……体言につき、場所や時間や人などの起点を示す。

① 会社…体言。帰ってきた起点の場所が「会社」である。

格助詞(原因・理由) ……体言につき、「くのせいで」と言い換えられる。

② 疲れ…体言。疲れのせいで病気になる。

格助詞(手段・材料) ……体言につき、「くを原料に」などに言い換えられる。

③ 木…体言。木を原料に紙を作る。

接続助詞(順接) ……活用語につき、「ので」に言い換えられる。

④ た…助動詞。疲れたので休む。

例題でチェック 11 「急いで走ったから電車に間に合った。」の「から」と同じ意味・用法のものを次から選び、記号で答えなさい。 []

- ア 母は、小麦粉からパンを作った。
イ 涼しいから窓を閉めた。
ウ 十時から好きなテレビドラマが始まる。
エ かげから肺炎になった。

そうだ

- ① 明日は雨が降るそうだ。↓ 伝聞
② 明日は雨が降りそうだ。↓ 推定(様態)

識別のポイント 活用語の終止形につくと伝聞

伝聞 ……活用語の終止形につく。

① 降る…動詞終止形。

推定(様態) ……動詞と動詞型活用助動詞の連用形、形容詞・形容動詞の語幹、形容詞型・形容動詞型活用助動詞の語幹につく。

② 降り…動詞連用形。

例題でチェック 12 次の——線部の語の意味・用法で一つだけ異なるものを選び、記号で答えなさい。

ア 彼はとても元気そうだ。 []

イ もうすぐ雪がやみそうだ。

ウ 午後家に客が来るそうだ。

こそ・あ・ど

- ① 母の描いた絵はこれだ。 ↓ 名詞
② この花は美しい。 ↓ 連体詞
③ 私はこう思う。 ↓ 副詞

識別のポイント どんな文の成分になるかで判断

名詞 ……主語になる。

① これが母の描いた絵だ。

連体詞 ……連体修飾語になる。 ② この↓花。

副詞 ……連用修飾語になる。 ③ こう↓思う。